

ゆめ半島千葉国体卓球競技会開催まであとわずか 「おもてなしの心」で思い出に残る大会にしよう！

日程／9月30日(木)～10月4日(月)5日間

会場／旭市総合体育館

参加者／全国都道府県代表選手・監督（総勢460人）

競技種目／卓球競技（成年男子、成年女子、少年男子、少年女子）

国体開催まであと2か月。国体の卓球競技会が開催される旭市でも、この日のためにさまざまなPR活動を行ってきた。選手や観覧者を「おもてなしの心」で迎えるための活動もいよいよ大詰め、皆さんの協力で国体ムードも高まってきました。

小中学校で手作りの応援のぼり旗・幕を製作

旭市を訪れる各都道府県の皆さんを迎えようと小中学校の子どもたちが、それぞれの地方の方言や特産品について勉強し、それらを使った特徴ある応援のぼり旗や幕を製作してくれました。製作したのぼり旗や幕は競技会場や練習会場などに掲げられ、選手たちを応援します。

市内を彩る「おもてなしの花」を定植

国体で訪れる皆さんをきれいな花で迎えようと、市内の各団体協力の下「おもてなしの花」の準備が進められています。7月には「おもてなしの花」の苗の定植が行われ、用意されたマリーゴールドとサルビアの苗合わせて500株が、スポーツの森公園前の国道沿い花壇に植えられたほか、1,200個のプランターにマリーゴールドが植えられ、それぞれに参加した人たちの応援メッセージも添えられました。製作されたプランターは市内の駅や公共施設、選手の宿泊施設などに飾られます。



▲プランターに苗を植えるボーイスカウトの子どもたち



▲応援幕の製作（旭二中）

※プランター製作協力団体（ボイスカウト旭第1団・旭第2団、ガールスカウト千葉県支部69団・101団、千葉県生涯大学校あさひ学友会）
※花壇定植協力団体（旭市ボランティア連絡協議会）

8/6(金)

走り抜ける友情の火を間近で

ゆめ半島千葉国体大会旗・炬火リレーを開催

いよいよ間近に迫った第65回国民体育大会（ゆめ半島千葉国体）。旭市では国体開催50日前（卓球競技開催55日前）を記念して、市内の小・中学生および公募で選ばれた市民の皆さんによる「大会旗・炬火リレー」を行います。

37年ぶりに市内を走り抜ける国体の炬火が国体開催の気運をさらに盛り上げます。

※炬火は、東部五市の炬火「千葉県東部五市友情の火」を使います。

スタート／8月6日(金) 午後2時～（雨天中止）

場所／七夕市民まつりパレードコース内

順路／市民会館～商工会館交差点～旭本町通り～

野中屋前折り返し～旭銀座通り～新田中央会通り～

千葉興銀前折り返し～旭駅前～市民会館

◆炬火リレー時、コース内全面通行止め

※炬火とは、たいまつのこと、オリンピックという聖火に当たります。国体では、走者が炬火と大会旗などを持ってリレーすることを「大会旗・炬火リレー」と呼んでいます。

<問い合わせ先>

ゆめ半島千葉国体旭市実行委員会（旭市総合体育館内）

☎64-1139 FAX64-0990

■37年前の「若潮国体」炬火リレーの様子



▲大勢の観客に見守られてさっそうと街を駆け抜ける炬火走者（市役所前）

▲それぞれの思いを込め引き継がれる炬火（旭駅前通り）